

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)	
設 計 書 番 号	年度 07
(工事・業務) 名	境川第28-イ雨水幹線除草委託
(工事・業務) 箇所	相模原市南区 (境川第 2 8 -イ雨水幹線)
(河川・路線・区域) 名	
単 価 採 用 地 区 名	相模原
事 業 区 分	単費
起 案 ・ 決 裁	起案日 令和 年 月 日 決裁日 令和 年 月 日
工 期	契約日から 令和 8 年 2 月 27 日まで
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	別紙委託単価内訳のとおり (単価契約) 基準工種: 機械除草工 (肩掛式) 除草・運搬のみ 1 m ² 当り 円 (消費税別)
(起工・変更) 理由	
監 督 員	

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)

〈支出科目〉

款	
項	
目	
目の細目	
節	

＜合併区分情報＞

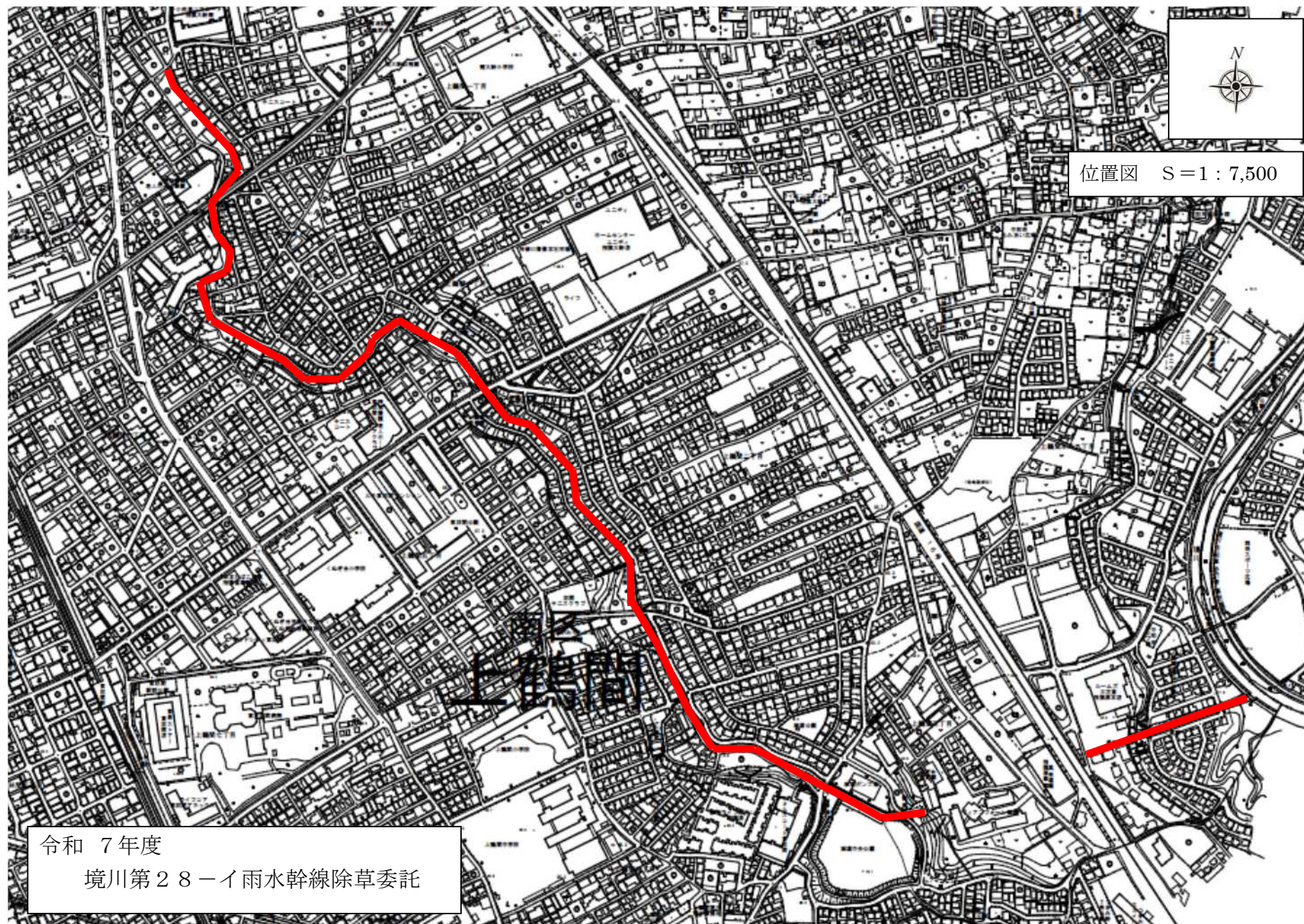
合併処理設定	しない	
	区分 1	
	区分 2	
	区分 3	
	区分 4	
	区分 5	
	区分 6	
	区分 7	
	区分 8	
	区分 9	

＜全体金額情報＞

	当初官積算額 (a)	当初請負額 (b 1)	今回變更官積算額 (c)	今回變更請負額 (d) = (b1) / (a) × (c)	増減額 (d) - (b1) or (b2)	備 考
		前回變更請負額 (b2)				
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 07 年度 積算諸条件調書(当初)

[illegible]



除 草 委 託 内 訳 書

R07

工 種	予 定 数 量	単 位	設 計 単 価	予 定 金 額
機械除草（肩掛式） 除草・運搬のみ	3,500	m ²		円
人力除草 除草・運搬のみ	4,500	m ²		円
刈込み（手刈り 高さ1.5m未満） 刈込み・運搬のみ	200	m ²		円
刈込み（手刈り 高さ1.5m以上～2.5m未満） 刈込み・運搬のみ	200	m ²		円
刈込み（手刈り 高さ2.5m以上） 刈込み・運搬のみ	200	m ²		円
刈込み（機械刈り 高さ1.5m未満） 刈込み・運搬のみ	150	m ²		円
刈込み（機械刈り 高さ1.5m～2.5m未満） 刈込み・運搬のみ	150	m ²		円
刈込み（機械刈り 高さ2.5m以上） 刈込み・運搬のみ	100	m ²		円
集草・積込 橋梁間距離100m未満	4,500	m ²		円
集草・積込 橋梁間距離100m以上200m未満	3,500	m ²		円
集草・積込 橋梁間距離200m以上300m未満	1,800	m ²		円
落葉樹剪定（幹周15cm以上30cm未満） 剪定・収集・積込	5	本		円
落葉樹剪定（幹周30cm以上60cm未満） 剪定・収集・積込	5	本		円
落葉樹剪定（幹周60cm以上90cm未満） 剪定・収集・積込	5	本		円
常緑樹剪定（幹周15cm以上30cm未満） 剪定・収集・積込	5	本		円
常緑樹剪定（幹周30cm以上60cm未満） 剪定・収集・積込	5	本		円
常緑樹剪定（幹周60cm以上90cm未満） 剪定・収集・積込	4	本		円
常緑樹剪定（幹周90cm以上120cm未満） 剪定・収集・積込	4	本		円
枯木処理（人力）（幹周20cm未満） 伐採・収集・積込	3	本		円
枯木処理（人力）（幹周20cm以上30cm未満） 伐採・収集・積込	3	本		円
枯木処理（人力）（幹周30cm以上60cm未満） 伐採・収集・積込	2	本		円
処分費	2,500	10Kg		円
				円
交通誘導警備員（B）交替要員無し	14	人		円
計【円止め】				円
消費税相当額(円止め)	10%			円
予定委託価格(概算予定委託価格)				円

※ 予定数量は参考数量（積算上での数量）であり、実際の発注での指示数量とは異なります。

委 託 設 計 単 価 換 算 率 表

工 種	基準単価 (円)	換 算 率 (%)
機械除草（肩掛式） 除草・運搬のみ		100.00
人力除草 除草・運搬のみ		244.67
刈込み（手刈り 高さ1.5m未満） 刈込み・運搬のみ		456.96
刈込み（手刈り 高さ1.5m以上～2.5m未満） 刈込み・運搬のみ		867.21
刈込み（手刈り 高さ2.5m以上） 刈込み・運搬のみ		1,325.00
刈込み（機械刈り 高さ1.5m未満） 刈込み・運搬のみ		375.40
刈込み（機械刈り 高さ1.5m～2.5m未満） 刈込み・運搬のみ		702.45
刈込み（機械刈り 高さ2.5m以上） 刈込み・運搬のみ		994.26
集草・積込 橋梁間距離100m未満		139.34
集草・積込 橋梁間距離100m以上200m未満		154.91
集草・積込 橋梁間距離200m以上300m未満		180.32
落葉樹剪定（幹周15cm以上30cm未満） 剪定・収集・積込		2,059.42
落葉樹剪定（幹周30cm以上60cm未満） 剪定・収集・積込		4,325.81
落葉樹剪定（幹周60cm以上90cm未満） 剪定・収集・積込		9,733.60
常緑樹剪定（幹周15cm以上30cm未満） 剪定・収集・積込		5,483.60
常緑樹剪定（幹周30cm以上60cm未満） 剪定・収集・積込		8,025.81
常緑樹剪定（幹周60cm以上90cm未満） 剪定・収集・積込		13,612.29
常緑樹剪定（幹周90cm以上120cm未満） 剪定・収集・積込		23,565.57
枯木処理（人力）（幹周20cm未満） 伐採・収集・積込		1,932.78
枯木処理（人力）（幹周20cm以上30cm未満） 伐採・収集・積込		3,058.19
枯木処理（人力）（幹周30cm以上60cm未満） 伐採・収集・積込		12,559.42
処分費		95.08
交通誘導警備員（B）交替要員無し		14,273.36

委託単価率計算表

R07

[illegible]

委託単価率計算表

R07

[illegible]

第0001号 内訳書
除草工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 機械除草（肩掛式） 除草・運搬のみ		m2			第0001号下内
	1				
(AMA0020) 人力除草 除草・運搬のみ		m2			第0002号下内
	1				
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA0010 機械除草（肩掛式）
除草・運搬のみ

1,000 m2 当り
適用年版 T0704
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 機械除草 肩掛式		m2			
	1,000				
(WB610170) トラック2tによる公園外への運搬		台			第0001号単価表
	2.4				清掃工場
合 計					
		m2			円／m2
	1				

第0001号 単価表
WB610170 トラック2tによる公園外への運搬

1 台 当り
適用年版 T0704

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(K0302002) トラック[普通型]2t積		時間			第0002号単価表 [1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		台			
	1				
条 件 名 称		入 力 値	条 件 値		
J01 DID区間の有無		2	有		
J02 運搬距離		9	7.0km以下		

第0002号 単価表
K0302002 トラック[普通型]2t積

1 時間 当り
適用年版 T0704

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0115) 運転手(一般)		人			
(Z006702002) 軽油		L			
(M000302002) トラック[普通型] 2t積		時間	【損料】		
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		時間			円／時間
	1				
条 件 名 称		入 力 値	条 件 値		
J01 機械使用条件コード		0	0		
J04 供用日当り運転時間		0	0 時間		
J06 異常補正		0	0		
J09 運転日当り運転時間		0	0 時間		

登録単価一覧表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TJ0010	機械除草 肩掛式	m2	T0704	115	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0020	人力除草	m2	T0704	290	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0030	刈込み（手刈り） 高さ1.5m未満	m2	T0704	550	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0040	刈込み（手刈り） 高さ1.5m以上～2.5m未満	m2	T0704	1,050	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0050	刈込み（手刈り） 高さ2.5m以上	m2	T0704	1,600	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0060	刈込み（機械刈り） 高さ1.5m未満	m2	T0704	450	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0070	刈込み（機械刈り） 高さ1.5m以上～2.5m未満	m2	T0704	850	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0080	刈込み（機械刈り） 高さ2.5m以上	m2	T0704	1,200	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0090	集草 橋梁間距離100m未満	m2	T0704	170	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0100	集草 橋梁間距離100m以上200m未満	m2	T0704	190	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0110	集草 橋梁間距離200m以上300m未満	m2	T0704	220	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0120	落葉樹剪定 幹周り15cm以上30cm未満	本	T0704	2,470	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0130	落葉樹剪定 幹周り30cm以上60cm未満	本	T0704	5,250	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0140	落葉樹剪定 幹周り60cm以上90cm未満	本	T0704	11,800	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り
TJ0150	常緑樹剪定 幹周り15cm以上30cm未満	本	T0704	6,700	その他施 工単価等	全間接費対 象	見積り

境川第 28-イ雨水幹線除草委託仕様書

第 1 章 総則

1 適用範囲

- (1) この仕様書は、境川第 28-イ雨水幹線除草委託に適用する。
- (2) 本仕様書に明記されていない事項は、市監督員及び受注者との協議により決定する。
- (3) 設計書・本仕様書等に特に定めのない事項であっても施工にあたり当然必要と思われるものは、受注者の負担においてこれを誠実にを行い業務の円滑なる執行に務めること。

2 委託の指示

本委託は、指示書により随時指定地域内の施設の除草及び剪定作業を指示するものである。

3 法令等に遵守

- (1) 本委託の遂行にあたっては、諸法令及び各関係諸法規を遵守すること。
- (2) 本委託の円滑な進捗を計るため諸法令の運用適用は受注者の負担と責任において行うこと。

4 提出書類

- (1) 受注者は、契約書に定める業務完了届には、次の書類を添付すること。

ア 記録写真届（施工前、中、後）	1 式
イ 出来形請求内訳書	1 式
ウ 出来形数量調書	1 式
エ 出来形図面	1 式
オ 出来形数量計算書	1 式

5 現場体制

- (1) 受注者は、契約締結後すみやかに現場代理人ならびに本委託の技術及び経験を有する主任技術者を定めるとともに、現場に主任技術者を常駐させて所定の業務に従事させること。
- (2) 受注者は、善良な作業員を選定し、秩序正しい作業を行わせ、かつ熟練を要する作業には、相当の経験を有するものを従事させること。
- (3) 受注者は、適切な作業の進捗を計るとともに、その為に十分な数の作業員を配置すること。
- (4) 作業実施の都合上、祝日又は休日等に作業を行う必要がある場合は、あらかじめその作業内容、作業時間等について市監督員の承諾を得るとともに、周辺住人の理解を得てから作業を行うこと。

6 地元住民との協調

- (1) 受注者は、本委託を実施するにあたり、必要に応じてお知らせ等を配布して地元住民に作業内容を説明し、理解と協力を求めること。
- (2) 受注者は、地元住民等からの要望、もしくは地元住民等と交渉があったときには、遅滞なく市監督員に申し出てその指示を受けること。
- (3) 受注者は、いかなる理由があっても地元住民等から報酬又は手数料等を受けてはならない。なお、作業員等についても前記の行為の内容について十分監督指導すること。

- (4) 作業員等が前項の行為を行ったときは、受注者がその責任を負うこと。

7 損害賠償及び補償

- (1) 受注者は、下水道施設等に損害を与えたときは、ただちに市監督員に報告しその指示を受けるとともに、受注者負担にてすみやかに原形に復旧すること。
- (2) 受注者は、作業にあたり万一注意義務を怠ったことにより第三者に損害を与えたときは、その復旧及び賠償の全責任を負うこと。

第2章 安全管理

1 一般事項

- (1) 本委託のために道路交通等の制限の諸手続きが必要になった場合は、受注者において事前に所轄警察署に届出て許可を取り、その許可条件を厳守すること。又許可証の写しは市監督員にすみやかに提出すること。
- (2) 受注者は、公衆災害、労働災害及び物件損害等の未然防止に努め、必要な処置を十分に講じること。
- (3) 作業中は、気象情報に十分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合は、ただちに対処できるような対策を講じておくこと。
- (4) 事故防止を図るため、安全管理については受注者の責任において実施すること。

2 安全教育

受注者は、作業に従事する者に対して定期的に当該作業に関する安全教育を行い、作業者の安全意識の向上を図ること。

3 労働災害防止

- (1) 現場の作業環境は、常に良好な状態に保ち、機械器具その他の設備は常時点検して作業に従事する者の安全を図るとともに、現場内の整理整頓、その他現場管理には細心の注意を払うこと。
- (2) 資格を必要とする諸機械を取り扱う場合は、必ず有資格者をあて、かつ誘導員を配置すること。
- (3) 高所作業や急傾斜地での作業等については、安全確保の為に必要な処置を講じること。

4 公衆災害防止

- (1) 作業中は、常時作業現場周辺の居住者及び通行人の安全ならびに交通の円滑な処置に努め、現場の保安対策を十分講じること。
- (2) 作業区域内において、交通安全確保の必要が生じた場合は、第3者にもわかるような腕章を着用させた交通誘導員を配置し、車両及び歩行者の通行の誘導及び整理を行うこと。
- (3) 受注者は作業にあたって下水道施設又は、ガス管等の付近では、絶対に裸火を使用しないこと。
- (4) 万一事故が発生したときは、緊急連絡体制届にしたがい、ただちに監督員及び関係官公署に報告するとともに、すみやかに必要な処置を講ずること。
- (5) 前項の通報後、受注者は事故の原因、経過及び被害内容を調査のうえ、その結果をすみやかに市監督員に書面にて報告すること。

5 異常時の処置

- (1) 作業が困難な状態になったときは、ただちに市監督員に報告し、指示を受けること。
- (2) 作業現場内の工作物に破損、不等沈下及び腐蝕等の異状を発見したときは、すみやかに市監督員に報告するとともに施工箇所図にその状況を記載し提出すること。

第3章 除草及び剪定

1 一般事項

- (1) 作業にあたっては、下水道工作物等に損傷を与えないよう十分に注意すること。
- (2) 作業終了時においては、作業現場付近を十分清掃し下水道施設等に支障のないようにすること。又、すみやかに使用機器等を搬出すること。
- (3) 受注者は、使用機材等の搬入・搬出及び施工にあたり現場もしくは周辺の路面を破損し、あるいは汚損することのないよう努めること。
- (4) 施工に伴い飛散した草等を念入りに片付けるとともに、第3者に損害を与えないように注意すること。

2 除草及び剪定作業

(1) 作業箇所

業務委託指示書に基づき作業を行うこと。

(2) 作業時間

原則として午前8時30分から午後5時までとする。

(3) 作業量の確認

受注者は、指示書により指示された箇所の作業量を確認し、変更（新規発注分含む）が生じた場合は、図面、数量計算書及び必要により検寸写真等を添付した作業量等算出計算書を市監督員に提出すること。

(4) 後片付け及び現場発生物の処分

除草及び剪定したものは、すみやかに作業現場外に搬出し、除草による現場発生物の処分については、一般廃棄物として相模原市一般廃棄物処理施設の設置に関する条例第2条に掲げる清掃工場への搬入処分とすること。

上記以外で処分する場合は、市監督員と協議し適正に処分するものとする。

第4章 類似工種の取扱いについて

1 類似工種の適用

契約工種の適用を行うことが困難な工種を施工する場合は、契約工種の中で類似する工種を選択し、類似工種として取扱い、次の方法で処理する。

- (1) 類似工種の必要性を確認し、内容及び数量を把握する。
- (2) 類似設計単価を作成する。
- (3) 類似設計単価を類似する工種の設計単価に換算する。

類似設計単価 / 工種設計単価 = 工数

- (4) 工種別出来高数量計算書に計上。

第5章 その他

1 単価見積条件の明示

(1) 入札価格

入札価格は、契約単価算出表の基準工種「機械除草工（肩掛式） 除草・運搬のみ」の経費を含んだ1㎡あたりの単価（但し、消費税を除く）です。

(2) 市積算における参考事項

市の積算における考え方は、1現場あたりの業務量（委託料）を100万円（消費税含む近似値）とし、（1）の基準工種について積算しております。

なお、本委託の業務量等を拘束するものではありません。

(3) 契約の方法

この契約は単価契約です

各工種の単価は、基準工種の入札価格を100%として、契約単価算出表の比率により算出し、円止めとします。

また、契約にあたっては、概算予定委託価格（消費税を含む。）に落札率を乗じて得た金額（以下「発注上限額」という。発注上限額は万円止めとします。）の10分の1以上の契約保証金を納付し、契約単価表を付して契約を行うものです。

なお、発注上限額は指示の限度額であり、確定金額ではありません。そのため、本市の都合により、指示書に基づく契約金額の合計額が、発注上限額に満たない場合が生じても、異議の申出又は損害賠償の請求をすることはできません。

2 作業数量の数値基準

(1) 計算書は少数点以下2位（3位切捨て）とする。

(2) 内訳書は少数点以下2位（3位切捨て）とする。

3 特に定めのない事項

契約書、仕様書及び、設計図書等に特に明示されていない事項で、作業上必要なものは、受注者の負担において処理すること。

4 検査

(1) 完了検査には、受注者又は現場代理人が必ず立ち会うものとする。

(2) 検査は、受注者の提出した写真、完了図書等に基づいて行うが、万一不完全な箇所があった場合には、再度の除草又は剪定を行うこと。なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

5 環境配慮事項

(1) 「相模原市環境方針」の主旨を理解し、業務を行うこと。

(2) 市への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。

(3) 業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他者に運搬等を委託する場合においても、アイドリングストップの実施を周知するように努めること。

(4) 業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、条例、相模原市一般廃棄物処理実施計画など、関連法令等を遵守し、適正に処理すること。

現場代理人等の氏名等の取扱に関する特記仕様書

- 1 目 的 公共工事の実施の円滑化を図ると共に、市民サービスに資するため。
- 2 対 象 相模原市が発注する工事、委託等（以下「当該工事等」という。）にあつて、現場代理人又は現場責任者となりうる者（以下「現場代理人等」という）を配置する当該工事等を対象とする。
- 3 取 扱 現場代理人等氏名、会社名及び連絡先については、工事お知らせや工事看板等への掲出、並びに、問い合わせ等に対する公表を行うものとする。
- 4 適 用 日 平成18年11月1日以降契約の当該工事等に適用する。

局地的な大雨に対する安全対策共通特記仕様書

第1 適用

本特記仕様書は、局地的な大雨に対する作業環境の安全性の確保について規定するものであり、雨水が流入する下水道管渠等※¹において、作業員が入坑して作業を行う工事等※²に適用する。

※1「下水道管渠等」とは、下水道管渠、マンホール及び雨水調整池等の下水道施設をいう。

※2「工事等」とは、工事のほか点検、調査、清掃業務等のうち、急激な雨水の流入により作業員に危険を及ぼす恐れがある作業をいう。

本特記仕様書に定めのない詳細な事項については、「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き(案)(平成20年10月、局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策検討委員会)」によるものとする。

第2 安全管理計画の施工計画書等への明記

受注者は、局地的な大雨による増水に備えるため、施工計画書を作成する際には、次に掲げる事項を安全管理計画として記載し、その内容について、作業員への周知徹底を図ること。

- (1) 現場特性の事前把握
- (2) 作業の中止基準、開始・再開基準及び警戒区域※³の設定
- (3) 迅速に退避するための対応
- (4) 日々の安全管理の徹底

※3「警戒区域」とは、下水道管渠等に入坑している作業員が、局地的な大雨による急激な増水に備えて、迅速に退避するための準備行動を取るために、受注者が作業箇所を中心とした一定の範囲内における降雨の状況について警戒を行う区域をいう。

第3 現場特性の事前把握

受注者は、工事等に着手する前に、作業箇所に係る集水範囲、雨水の流達時間等の下水道施設情報に関する資料、地形情報、浸水被害等の既往情報を収集・分析し、急激な増水による危険性等をあらかじめ十分に把握するとともに、作業員への周知徹底を図ること。

第4 作業の中止基準、開始・再開基準及び警戒区域の設定

受注者は、局地的な大雨に対する安全対策として、作業の中止基準、作業の開始・再開基準及び警戒区域を設定すること。この場合においては、次に掲げる事項を踏まえるとともに、退避に要する時間等の現場特性を考慮すること。

(1) 作業の中止基準

- ①当該作業箇所又は上流部等※⁴に降雨又は雷が発生した場合
- ②当該作業箇所又は上流部等に洪水又は大雨の注意報・警報が発令された場合

※⁴「上流部等」とは、原則、当該作業箇所における上流部の集水範囲をいう。
ただし、その規模によって作業員全員が退避する時間を確保できない恐れがある場合は、必要に応じてその範囲を拡大すること。

(2) 作業の開始・再開基準

- ①当該作業箇所又は上流部等に降雨又は雷が発生していないこと、かつ、洪水又は大雨の注意報・警報が発令されていないこと。
- ②当該作業箇所の水位を計測し、計測した水位が事前の調査に基づく通常水位の範囲内であること。

(3) 警戒区域の設定

警戒区域は、迅速な退避が行えるよう当該作業箇所を中心に原則半径10kmの範囲とし、退避ルート上に支障物が無いかの確認や資機材等の流出防止対策等の警戒作業に要する時間を十分考慮した区域を設定すること。

第5 迅速に退避するための対応

受注者は、作業に着手する前に作業員が安全かつ迅速に退避できるように、あらかじめ次に掲げる事項について定めておくこと。

- (1) 下水道管渠等での作業を行っている間は地上監視員を常時配置するとともに、地上監視員は当日の天気予報や雨雲の動き等の気象情報を収集し、警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した場合や中止基準に該当した場合には、その旨を確実に作業員に伝達すること。
- (2) 民間気象会社等がリアルタイムに気象情報を自動配信（プッシュ型配信アプリ等）するサービスを活用し、上流部等及び警戒区域においては、降雨又は雷の発生情報を収集できる体制とすること。~~また、上流部等の外縁部には、雨量計を現場特性を踏まえて設置し、設置箇所の降雨の情報を収集できる体制とすること。~~
- (3) 当該作業箇所の水位変化を監視するとともに、上流部等の主要な管渠の水位の変化を把握できるよう当該作業箇所から1km上流の箇所に水位計を設置し、その結果を自動配信するシステムの設置に努めること。
- (4) 現場条件、作業員数等を考慮した上で、安全かつ迅速に地上に退避できるルートを設定すること。また、不測の事態に備え原則複数設定すること。退避方法については、作業に着手する前に実際の作業環境に応じた退避訓練を実施するとともに、退避手順、情報伝達の確実性及び想定している退避時間を実地検証することとし、作業環境を変更する場合も同様に実地検証すること。
- (5) 地上監視員から入坑している作業員への情報伝達機器は、内容が確実に伝わるよう複数の手段を確保するとともに、警報音付回転灯等の音声による伝達機能を持たない機器については使用基準及び行動基準を具体的に定めること。また、作業の開始に当たっては機器の動作確認を行うこと。

- (6) 地上監視員から警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した旨の伝達があった場合には、入坑している作業員は退避行動に備え、退避ルート上の支障物が無いかを確認し、使用していない資機材等の流出防止対策等を講ずること。
- (7) 地上監視員から作業の中止の伝達があった場合には、人命を最優先とし、入坑している作業員は資機材を存置し、直ちに退避すること。
- (8) 急激な増水に備え、現場特性に応じて親綱、救助用ロープ、縄梯子等の救命・救助器具を適切な場所に設置すること。また、作業の開始に当たっては救命・救助器具等の設置状況の確認を行うこと。

第6 日々の安全管理の徹底

受注者は、日々の安全管理に当たり、次に掲げる事項について徹底すること。

- (1) 受注者は、市が開催する下水道工事固有のリスクを踏まえた安全講習及び気象に関する講習を受講するなど、安全管理に関する知識及び技術を習得し、危機管理意識の向上に努めること。
- (2) 作業当日の朝礼、KYK（危険予知活動）等において、気象情報及び各種リスク情報を作業員全員に共有するとともに、作業の中止基準や退避ルート等の周知徹底を図ること。
- (3) 下水道管渠等に持ち込む資機材は必要最小限にするとともに、作業終了時に存置する資機材等については流出防止対策を講じておくこと。

委託現場における「市民等への対応」に係る特記仕様書

受注者は、本委託施工において、下記の事項に十分留意し、市民及び周辺住民に適時、適切な対応に努めなければならない。

作業員等の飲食、喫煙、休憩については、周辺住民に不快な感情を抱かせることのないよう適切に行うこと。